

2015年秋期(第157回)講演大会記録

2015年秋期講演大会は、9月16日から18日の期間、九州大学伊都キャンパスにおいて開催した。

9月16日(9:00~9:40) 開会の辞、各賞贈呈式(椎木講堂 ホール)

(10:00~17:15) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、KIM-JIM シンポジウム(センター1号館、2号館 16会場)

(12:30~17:00) ポスターセッション(I²CNER)

(19:00~21:00) 懇親会(ホテル日航福岡「都久志の間」)

9月17日(9:00~17:40) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション(センター1号館、2号館 18会場)

9月18日(9:00~16:20) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション(センター1号館、2号館 18会場)

9月16日~9月18日 総合受付(全学教育棟 学生ホール)
付設機器・カタログ展示会、World Materials Day Award 展示(センター2号館1階2108)

開会の辞(9月16日)

東田賢二実行委員長より開会の挨拶があった。

贈呈式(9月16日)

福富洋志会長の式辞に続き、下記の贈呈式を行った。



第13回学術貢献賞贈呈式 9名に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌543頁)

第38回技術開発賞贈呈式 4件15名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌545頁)

第13回功労賞贈呈式 2名(学術部門2名)に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌546頁)

第25回奨励賞贈呈式 6名(物性部門1名、組織部門1名、力学特性部門1名、材料化学部門1名、材料プロセッシング部門1名、工業材料部門1名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌546頁)

第5回までア論文賞 2編4名、第5回までア啓発・教育賞 1編1名に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌548頁)

第12回村上記念賞贈呈式 1名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌549頁)

第12回村上奨励賞贈呈式 4名に対し賞状ならびに賞金贈呈。(受賞者; 本誌549頁)

第63回論文賞贈呈式 6編29名(物性部門1編、組織部門1編、力学特性1編、材料化学部門1編、材料プロセッシング部門1編、工業材料部門1編)に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞

者; 本誌550頁)

第23回若手講演論文賞贈呈式 3編3名に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌552頁)



皆様ご受賞おめでとうございます!

日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会(9月16日)

日時: 9月16日(水)19時~21時

場所: ホテル日航福岡(福岡市博多区博多駅前2-18-25)

参加者: 185名(本会への申込者・招待者106名)

司会

九州大学教授 国友和也

開会の辞・大会実行委員長挨拶

九州大学教授 東田賢二

来賓挨拶

九州大学総長 久保千春

日本鉄鋼協会会長挨拶

東京工業大学教授 加藤雅治

日本金属学会会長挨拶・乾杯

横浜国立大学教授 福富洋志

閉会の辞

九州大学教授 高木節雄



福富会長による乾杯!

久保九大総長を囲んで。

大会参加者

1,375名(一般665名 学生516名 非会員96名(一般51名 学生45名)、相互聴講98名)

学術講演会(9月16日~18日)

最終講演件数 915件

欠講2件(講演番号: 一般講演 No. 100 ポスター No. P17)

公募シンポジウム講演5テーマ188題(奨励賞受賞講演1題、基調講演37題含む)

一般講演508題(奨励賞受賞講演4題、技術開発賞受賞講演4題、功労賞受賞講演2題、学術貢献賞受賞講演9題、村上奨励賞受賞講演4題、村上記念賞受賞講演1題含む)

KIM-JIM シンポジウム16題

共同セッション14題

ポスターセッション189題

講演会場 18会場

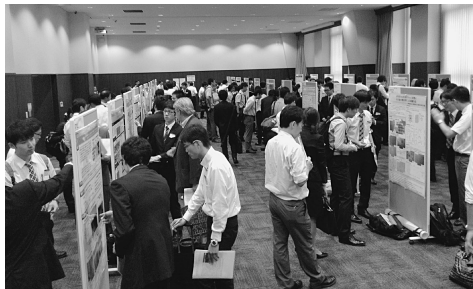


第25回ポスターセッション(9月16日)

9月16日12:30~17:00の時間にI²CNER(カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所)で189件のポスター発表が行われ、そのうち優秀ポスター賞にエントリーおよび審査対象となっている178件の内容・発表について審査が行われた。秋期講演大会では2011年の沖縄大会をのぞいて、過去最高のポスター発表件数であった。

発表は二部構成で行い、多くの聴講者がポスターセッション会場へ足を運んでいた。

翌17日「第25回優秀ポスター賞」42名が決定し、受賞者を本会ホームページに掲載した。(本誌;553頁)



熱気あふれるポスター発表。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」28題は9月17日、18日に鉄鋼協会第17会場で開催した。

「超微細粒組織制御の基礎」7題は9月18日に金属学会B会場で開催した。

付設機器・カタログ等展示会(第38回)

機器展示16社、カタログ展示2社から出展の協力を得た。各社のご厚意に感謝いたします。



託児室

利用申込者がなく設置しなかった。

第13回 World Materials Day Award

材料系国際学協会連携組織であるIOMMMS(International Organization of Materials, Metals and Minerals Societies)では、World Materials Dayを制定し、本年は2015年11月4日(水)に世界同時に、「材料に関する知識とその重要性を社会や若者に啓発する活動」に貢献があった学生を顕彰している。日本金属学会では、次の方が授賞し、IOMMMSにはWorld Materials Day Award Winnerを推薦した。

第13回日本金属学会 World Materials Day Award 受賞者

(本誌;556頁)

Winner(優秀賞)2件

「様々な方向から見る金属の世界」

久留米工業高等専門学校

成清香名子君、古賀貴智君、門口 純君

「びっくり子ども科学実験教室」

九州大学

宮島友博君 池下純葉君 浦上亮介君 足立爽太君

下西圭佑君

第1部門賞(1件)

「目で感じる材料の不思議」

久留米工業高等専門学校

井上朋美君 草場康志君 新田寛和君 東園拓海君

第2部門賞(2件)

「熊本大学マテリアルアート展」

熊本大学工学部

岐津尚哉君

「九州工業大学工学部マテリアル工学科オープンキャンパス

【マテリアルの不思議体験】」

九州工業大学マテリアル工学科

梅野浩和君

第3部門賞(1件)

「熊大マテリアル たたら製鉄への挑戦」

熊本大学

鮫島佳君 久米田大樹君 岩下佳樹君 吉永聖矢君

【大会雑記】

九州大学での講演大会は1994年(平成6年)以来21年ぶりの開催であった。

時期的に台風を心配したが、大会初日、二日目に小雨が降った程度で、天候の影響を受けることはなかった。博多駅から九州大学伊都キャンパスまで、電車やバスを乗り継いで1時間近く交通時間がかかるが、バス会社の協力でバスの増便を行ったため、混乱はなかった。

講演はセンター1号館、センター2号館の18会場を使用した。会場が集約されていたため、会場移動はスムーズであった。また、建物が近接し、通路でつながっていたため、雨でも濡れることなく移動できた。共同開催した鉄鋼協会とも受付が隣接し、会場もセンター2号館を共有して設置していたため両会で講演・聴講される参加者には移動がスムーズであった。

九州大学での金属学会講演大会開催に当たって、東田賢二実行委員長をはじめ実行委員の皆様には準備当初より長期にわたり、大変なご努力とご配慮を頂き、そのご尽力により大会を盛会裡に運営することができました。お忙しい中を本会のために長期間を割き、諸般について万端のご協力を頂いた実行委員の方々をはじめアルバイト学生の皆様、大学関係者各位に対しまして、衷心より厚くお礼申し上げます。



九州大学伊都キャンパス。

次回春の大会
は、東理大(葛
飾区)です。